

令和3年度

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

記入年月日
令和3年4月21日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '真壁伝承館（中央公民館）各種講座事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

〔Do〕 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the program's goals and implementation steps.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Contains performance metrics for '公民館だより' and '生涯学習' activities over a 5-year period.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing financial input details for 01, 02, and 03 fiscal years, including categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, etc.

Table showing internal cost breakdown (事業費の内訳) for 02 and 03 fiscal years, including '07 報償費' and a total of 434 and 490 respectively.

事務事業名	真壁伝承館(中央公民館)各種講座事業	事務事業No.	20201000612	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 公民館事業として旧真壁町で昭和59年より講座が開設され、後に「いきいき教室」、平成17年桜川市となり「公民館講座」と名称を変えた。その後、中央公民館の老朽化により平成23年に真壁伝承館へ建替えられ、真壁伝承館講座として現在に至っている。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 講座は3年で入れ替えを行うが、新規講座の開催希望があれば、出来るだけ希望を取り入れて開催する。また、講座3年終了後の自主講座への移行を推進している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習や文化活動を通して、知識・見聞を深めており結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の生涯学習や文化活動の輪を広げる「きっかけ」作りに必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 公民講座の講座数、受講者数は比較的多いが、自主講座として活動している団体がほとんどない。市民の興味・関心のある定期講座を数多く開催し、終了後の自主講座として活動できる講座開催を行う。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生涯学習の場であり必要である。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 各公民館でそれぞれ事業を展開しているので出来ない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種講座開催に要する最小限の予算であり削減の余地はない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としており公平・公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	講座数、受講者数とも比較的多いが、講座終了後に自主講座として活動する団体がほとんどない。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民の興味・関心のある定期講座を数多く開催し、終了後の自主講座として活動できる講座開催を行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○	×																									
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>